

進路関係資料（過去4年間の進路先 数字は人数を示す）

卒業年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
国立大学	鹿児島大学 (生物生産)	鹿児島大学 (生物生産 1)		
私立大学	南九州大学 (健康栄養) 鹿児島国際大学 (社会福祉)	東海大学 (農学部 1) (基盤工学 1) 南九州大学 (環境園芸 1) 鹿児島国際大学 (国際文化 1)	東京農業大学 地域環境科学部(1) 酪農学園大学 農食環境学群(1) 東海大学 農学部(2) 鹿児島国際大学(1) 志学館大学(1)	酪農学園大学 循環農学類畜産(1) 東海大学農学部(1) 南九州大学 環境園芸学部(1) 健康栄養学部(1) 志学館大学 人間関係学部(1)
短期大学	鹿児島女子短期大学 (児童教育) 鹿児島純心女子短大 (英語) 第一幼児教育短大	鹿児島女子短期大学 (児童教育 2)		鹿児島女子短期大学 教養学部(1)
県立農業 大学校 等	鹿児島県立農業大学校(9) (肉用牛 1) (養豚 1) (酪農 1) (花卉 2) (野菜 3) (茶業 1) 高等技術専門校 (吹上・宮之城・鹿屋)	鹿児島県立農業大学校(10) (肉用牛 1) (養豚 1) (酪農 4) (果樹 1) (野菜 2) (茶業 1) 宮之城高等技術専門校 (室内造形 1)	鹿児島県立農業大学校(7) (野菜科 4) (肉用牛科 2) (花卉科 1) 宮之城高等技術専門校 (室内造形 1)	鹿児島県立農業大学校 (野菜科 5) (果樹科 2) (花き科 2) (肉用牛科 1) (養豚科 2) 愛知県立農業大学校 (養豚養鶏 1) 農研機構果樹試験場(1)
専門学校  その他	今村学園リハビリテーション 鹿児島動物専門学校 原田学園医療秘書専門学校 KBCC鹿児島情報ビジネス 鹿児島鍼灸専門学校 ホテル観光短期大学校 鹿児島美容専門学校 中村調理・製菓専門学校 福岡ECOコミュニケーション専門学校 倉敷ファッションカレッジ	今村学園リハビリテーション 鹿児島動物専門学校 鹿児島美容専門学校 鹿児島医療技術専門学校 鹿児島理容美容専門学校 タラ美容福祉専門学校 中央法科カレッジ 福岡ECOコミュニケーション専門学校 平岡調理・製菓専門学校	今村学園リハビリテーション 鹿児島医療技術専門学校 鹿児島理容美容専門学校 原田学園リハビリテーション専門学校 鹿児島県美容専門学校 鹿児島ホテル短期大学 鹿児島障害者職業訓練開発校 西鉄国際ビジネスカレッジ 福岡リハビリ調理製菓専門学校 ECO動物海洋専門学校 他	原田学園リハビリテーション専門学校 神村学園専修学校こども学科 鹿児島情報専門学校 鹿児島情報ビジネス専門学校 タラ美容福祉専門学校 鹿児島県美容専門学校(2) 宮崎ペットワールド専門学校 福岡リハビリ調理製菓専門学校 福岡ECO動物海洋専門学校 パレットワールド美容専門学校 他
就職	公務員	鹿児島県警	自衛官候補生	自衛官候補生
	県内	佐川急便, 鹿児島森林組合, みその, 小原鉄筋工業, 協栄 ニシムタ, 串木野漁業協同組合 薩摩蒸気屋, 誠心会, アクシー ズ, 霧島観光交通, ココシス, やはずの里, 水溜食品, 芙蓉商 事, 市比野記念病院, 横瀬造園	指宿白水館、医療法人誠心会 かごしま森林組合、康正産業 (株) ジャパンファーム、 (株) ヒガシマル、立秋水産 岩崎産業、ユヤシスリゾート (株) マキオ、二幸食鳥 ココシス、新日本科学 他	(株)イケダパン 指宿白水館 (有)錦江ファーム (株)シムコ 株式会社新日本科学 佐川急便 社会福祉法人野の花会 西日本ベストパッカー(株) (株)アクシーズ サノロイヤルホテル JAさつま日置農協 他
県外	キューピー, にしけい, やる気 萬野総本店, 友光エンジニアリ ング, 大将軍商事, 育心会, 東京エアポートレストラン, 飯塚, ワークステーション, 玉屋, 岩城生花店他	ファームズ千代田、(株)美々卯 社会福祉法人サンライフ 九州警備保障、ゆふいん花由 GMG八王子ゴルフ、 ビューティ花壇、岩城生花店 (株)セノン 他	山崎製パン(株) (株)食道園 (株)にしけい 株式会社美々卯 空港協力事業株式会社 株式会社サッポロライオン テラワインタープライズ(株) 他	高梨乳業株式会社 成松牧場(北海道) 株式会社フナタ工房 医療法人社団小松会聖パル病院 (株)引越社関東 株式会社小原鉄筋工業 他

平成27年度の進路状況について

- 就職 県内への就職希望者が年々増えてきている。県内企業からの求人状況も増加傾向にあり、生徒たちの選択肢は増えてきている。そのため自分の目標をしっかりと決めていない生徒はいつまでも迷ってしまう場合がある。
- 進学 生徒数が減少しているため、どの学校も危機感を持っている。学費のサポート体制や、新規の入試方法を導入することで、早く生徒を確保しようとする傾向が強くなってきている。